

市の政 おおの

55. 5. 1
No.312



心と体をきたえる

こどもはみんなスポーツ好き

5月5日は子供の日。将来の“おおの”を担う子供たちはみんな元気でスポーツ好き。

市内にはいろんなスポーツ少年団があり、たくさんの仲間が心と体を鍛えています。

3年前に発足した有終野球スポー

ツ少年団もその1つ。有終東・西・南、乾側の各小学校の3～6年生32人が毎日練習に汗を流しています。

ことしキャップテンになった広瀬裕充君（有南小・6年生）は「練習はつらいけどみんなで力を合わせてがんばり、夏の県大会に出場するこ

とが目標です」と、チームのリーダーらしく声をはげませます。

発足当時から監督を務めている川端治和さん（26歳、日吉町）は「みんな元気です。それに合宿などを通して礼儀作法がとても良くなりました」と、成果を話していました。

清滝川～富田大橋が開通

通勤・観光が便利に

両側は2.5メートルの歩道

県が53年度から進めていた都市計画街路七間線の延長工事、清滝川～富田大橋間が完成し、4月25日開通しました。

この七間線は、駅東第二土地区画整理事業として既に七間～清滝川間が完成していましたが、今回清滝川からさらに870メートル延長して富田大橋と結ばれました。

新しく出来た道路には、工事費1億3,600万円が投入され、幅員7メートルの2車線で、道路の両側にはそれぞれ2.5メートルの歩道が設けられています。

県ではこの七間線を県道南六呂師大野線に昇格させ、現在の県道(中挟～中保～富田大橋間)は市道にする予定です。

県道南六呂師・大野線は市街地と富田・阪谷地区を結ぶ主要道路であり、特に奥越高原県立自然公園の最も代表的な六呂師高原に通じ、春はピクニックや山菜採り、夏はキャンプ、秋はハイキング、冬はスキーなどに年間を通して市内をはじめ市外からたくさんの方が訪れています。

しかし、これまでカーブが多いうえに道路幅が狭く、交通事故の危険性が高くてネックとなっていました

が、七間線の開通で解消され大変便利になりました。

県では引き続き富田大橋を渡った川上から現在の県道と分かれ、川上上野の集落の北側を通り、土打(県道との合流点)まで約2キロメートルを幅員11メートルの付け替え道路で結び、整備する計画です。



富田大橋から市街地を望む

衛生処理場の改築終わる

放流水さらに浄化

加圧浮上槽を新たに設置

老朽化のため昨年9月から工事費1億1,800万円を投じ、大規模な改築が進められていた衛生処理場の改築工事が、この程完成しました。

現在の衛生処理場は昭和37年に建設されたもので、以来部分的な補修や改築は行われてきましたが、今回のように大規模な改築は初めてです。

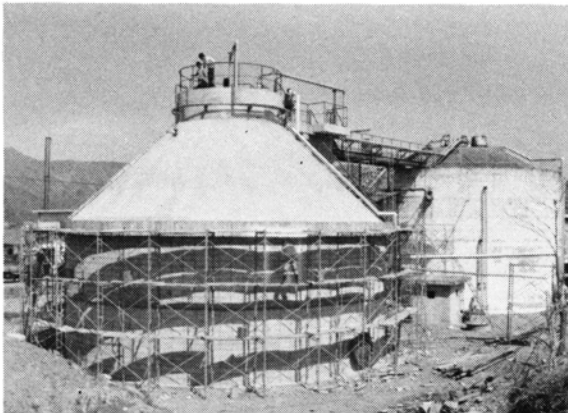
工事は消化槽・脱離液調整槽・減菌槽を改築した外放流水をさらにきれいにするために新しく加圧浮上槽が設置され、処理行程が増えました。

消化槽は耐久年数に達し、最近で

はひび割れが出来て処理能力が低下する恐れが出てきたため、これまでの建物の南側に高さ10メートル、直径14メートルの卵形のを1基造りました。

これまでのし尿処理は第1・第2消化槽(それぞれ15日間、密封加温しバクテリアによる消化処理)を経て、ばっ気槽(空気を送りバクテリアによる消化処理)から沈殿槽に送って汚物を沈殿させ、上澄み液を放流していましたが、今回新しく加圧浮上槽を設置し、さらに3次処理をすることにしました。

加圧浮上槽は沈殿槽から送られてくる上澄み液に、今までとは逆に下から圧力をかけて汚物を上に押し上げ、下方のきれいな水を放流する働きをします。これによって処理行程が増えることになり、今まで以上にきれいな水が放流されます。

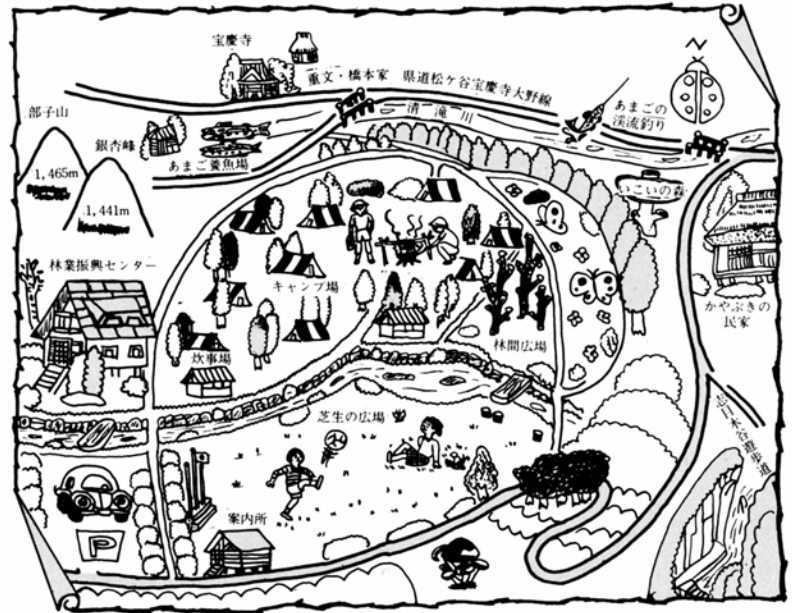


改築された消化槽(手前)

宝慶寺憩いの森

いよいよ7月オープン

あなたを待つ野鳥や清流



宝慶寺で建設が進められていた「宝慶寺憩いの森」が完成し、いよいよ7月にオープンすることになりました。約3万平方メートルの敷地では、澄みきった空気の中で小鳥の会話や谷川のせせらぎなどが楽しめ、自然がいっぱいです。オープンを待つ憩いの森をご紹介します。

キャンプ場は150人 将来は自然研究林も

「宝慶寺憩いの森」は昭和51年から林業構造改善事業として、宝慶寺の集落の高台に建設が進められてきました。憩いの森は市民のレクリエ

ーションと林業振興という2つの目的をもっています。

総額1億1,800万円が投じられ、モダンな林業振興センターを中心に9,000平方メートルにおよぶ芝生広場と林間広場と150人収容のキャンプ場があり、清流と滝が楽しめる2,242メートルの林間遊歩道、総合案内所なども設けられています。

林業振興センターは既に昨年完成し、鉄筋コンクリート2階建て516平方メートルで、講義室・実習室・休憩室(和室)4などが設けられており、15人まで宿泊出来る寝具が備えられている外、休憩にも利用出来ます。

キャンプ場には30張りのテントが用意されており、150人収容出来ます。キャンプに必要な寝具・炊事用具・トイレ・救護室なども完備して

います。

また、駐車場の隣にはバレーボールやゲームなどが楽しめる芝生広場があり、総合案内所もあります。

高台の下を流れる清滝川ではアマゴやニジマスの溪流釣りのだご味が味わえ、ちょっと足をのぼすと永平寺の第2道場として知られている宝慶寺や、国の重要文化財に指定されている橋本家などがあり、家族のレクリエーションにも適しています。

近い将来、散策を楽しみながら植物の観察が出来る自然研究林や、林産物の生産方法を紹介するワサビ沢・オウレン畑なども設けられる予定です。

管理運営は市森林組合が当たりますので、利用する場合は「申込書」を1週間前までに同組合(有明町14-20、電話5-0005)へお送り下さい。用紙は同組合、または市林務課(6-1111内線341)にあります。

林業振興センター使用料

(単位 円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	全 日
大 会 議 室	800	1,200	1,500	3,000
和 室 (9 畳)	300	500	800	1,500
和 室 (6 畳)	200	300	500	1,000
実 習 室	800	1,200	1,500	3,000
講 義 室	500	700	1,000	2,000
区 分	大 人	大学・高校生	小・中学生	備 考
宿 泊 料	1,500	1,000	500	15~10時
休 憩 料	100	50	20	1時間当たり

キャンプ用具使用料 (単位 円)

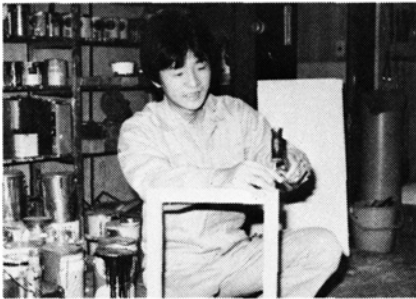
区 分	金 額
テント(5人用)	1張り 400
炊 事 用 具	1人 100
寝 具	1人 200
持ち込み協力費	1人 100

がんばってます 新人さん

この春学校を卒業し、新しい職場に就かれた若人たちも早や1カ月を経過。今、この新人さんたちは社会の荒波の中での厳しい試練を膚で感じていることでしょう。しかし、ど

んなにつらくても、どんなに苦しくても若さがあり、大きな希望と夢があります。先輩の指導を受けながら一生懸命がんばっている新人さんたちを訪ねてみました。

夢は店と絵の看板



前田 新一さん (18歳 高砂町)

前田さんはF看板店に就職。「腕に技術を着けるため、自分の好きな絵を生かせるこの道を選びました。今は看板のワグ組みや下塗りが主な仕事です」と金づちを手にしながら話し始めました。初めて字を書いたのは先輩が線引きをした上ですが「緊張して手が思うように動きませんでした」と頭をかきまします。「将来は自力で店を出したいし、絵を取り入れた看板を作りたいです」と夢を語っていました。

素直な子に育てる



永見 智美さん (20歳 天神町)

「子供とかかわりのある仕事をしたいと思って保育になりました」と、K保育園に囲まれた永見さんは、うれしさいっぱいです。新入園児もようやく保育園になれてきたものの仕事を終えると体もぐったり。しかし、そこは若さでカバー「結果を急がず素直で我慢強く思いやりのある子供に育てたいと思います」と、将来のほほえましい子供の姿を胸に描きながら元気に話していました。

接客態度を大切に

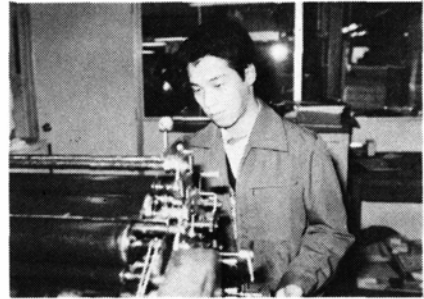


森下加代子さん (16歳 泉町)

森下さんは福井の美容専門学校で1年間勉強し、M美容室で見習いをしています。「人はだれもが美しくなりたくて願っています。美容は限りなく深く、やりがいのある仕事だと思います」と笑顔で話します。当面の目標は早く先輩を見習い、来年の国家試験に合格することだそうです。

「お客さんとの会話を大切に、明るく接するよう心掛けます」と、美容師らしく語っていました。

機械操作が楽しみ



三川 浩之さん (18歳 水落町)

小さいときから機械いじりの得意な三川さんは、高校の機械科を経てM印刷所へ就職。自動車や織物関係の仕事に就いた友だちもいるそうですが「普通の機械は、すべてオートメーションになっていて面白味がありません。印刷は自分の手で機械を操作する楽しみがあります」と、根っからの機械好き。

「まだ紙の種類や仕組みがわかりませんが、早く覚え一生の仕事にしたい」と意気込んでいました。

省エネ時代の運転術



私たちの日常生活を振り返ってみますと暖房・照明生活用品・衣類などそのほとんどが「石油」に関係のことがわかります。しかし、この石油資源も限りがあります。日本は実に消費量の99.8%を輸入に頼っており、いま全国的に7%の石油節約運動が展開されています。既に各家庭や職場で省エネ対策を実行されておられると思いますが、今月はドライバーの“省エネ運転、について考えてみましょう。

1. 急発進をしない

“省エネ時代、のドライバーの条件——それは、ムダのない効率的な運転にあるといえます。

信号が青に変わるや否やわれ先に飛び出す、レース並みの運転をする人をよく見かけます。

このような急発進は危険であるばかりでなく、燃料のムダ使いです。

急発進を10回繰り返すと、普通発進に比べて100cc多く使うことになります。100ccあれば約700km走れます。

2. 急加速をやめる

自動車は、一定のスピードで走っているときに、燃料消費が一番少なくて済みます。

といっても、混雑した道路では一定の速度で走ることが出来ません。

そんなときは、せめてアクセルや

ブレーキ操作をゆっくりとした動作で行うよう心掛けてください。

急加速も空ぶかしと同じ量の燃料がムダになります。

3. 空ぶかしはだめ

渋滞や信号待ちで停車している間も、アクセルをパタパタ踏み込んで空ぶかしをしている人がいます。

空ぶかしを10回やると約50ccの燃料がムダになります。50ccで約350km走れます。



4. すぐエンジンを切る

エンジンのかけっぱなしも、燃料のムダ使いです。荷物の積み下ろしなどで止まっているときはエンジンを切りましょう。10分間エンジンをかけておくと、200cc、約1,400km走行出来る燃料がムダになります。

5. 不要物は積まない

トランクの中に不要な物を乗せていませんか。よく釣り道具やタイヤチェーンなど、いま必要のない物を積んだまま走っている人がいます。

トランクの中に10kgの荷物を乗せて50km走ると、約80ccの燃料がムダになります。

6. ドライブは計画的に

ドライブの途中で道に迷う——これも意外とムダな燃料を使うものになります。一度道に迷うと、自動車はその場で自由に曲がったり、戻ったり出来ないでかなりの距離を走ることになります。

平均時速20kmで10分間道に迷った場合、約3,000kmを走ることになり、500ccの燃料がムダになります。

出かけるときは、事前に道路状況や混雑時間帯などを調べておき、計画的なドライブが必要です。

7. 経済速度で走る

自動車の場合、一般道路では時速40km程度、高速道路では80km程度が最も経済的な走り方です。

高速道路を走るとき、経済速度の時速80kmから100kmにスピードアップすると、燃料消費率は約6%増えます。

スマイル

『諸物価アップ』

こちらもアップアップ

—庶民

福井文化・産業博

6月30日まで

大野の朝市なども展示

“みんなの知恵がエネルギー 福井のあした：のテーマのもとに、福井県の風土と歴史によってはぐまれた文化と、先人たちが築き上げた産業を一堂に集めた“福井文化・産業博覧会”が、福井県産業会館（福井市六条町）で4月19日（土）～6月30日（月）の73日間開かれています。会場は1号館で永平寺秘宝展、2号館が産業の展示場、それに楽しさいっぱいの屋外広場に分かれています。その主な内容を紹介します。



大野市の紹介コーナーを見入る見学者

1号館 永平寺秘宝展

ことしは、曹洞宗大本山永平寺の二祖国師孤雲禪師の700回大遠忌に当たります。

これを記念して、これまで公開されなかった開祖道元禪師・二祖国師孤雲禪師ゆかりの品をはじめ、由緒ある宝物、伽藍の偉容、禪僧の修業生活などが、禪の世界の荘厳なふん囲気の中で紹介されています。

2号館 主産業の紹介

福井県を代表する繊維・眼鏡産業や鉄工・機械産業の紹介をはじめ、電気の実験教室や未来の通信技術の



展示の外、県下の観光・特産紹介コーナーや、伝統工芸と民具の実演コーナーが設けられています。

繊維コーナーでは「せんいの聖火」を中心に、“せんいのなぜなぜカーテン・くるくるボード”などで繊維を楽しく解説し、ニューファッショ

ンの展示もあります。

眼鏡コーナーでは、カラー眼鏡をかけると目の前の絵が変わったり、浮かんで見えたりする不思議な展示があります。

また、“わたしたちの街：紹介コーナー”には大野市の越前おおのおどりや朝市・宝慶寺をはじめ、いとよなどが紹介されています。

屋外広場 楽しい催し物

本物そっくりのロケットに乗って宇宙旅行の映画が楽しめる“宇宙旅行体験館”や、子ども広場・おみやげ広場などがあります。

また、期間中は随時、県下各市町村から祭りや郷土芸能が披露されます。

入場料金表

	当日	前売り	団体	体
一般大人	500円	450円	20人以上の場合	450円
			100人以上の場合	400円
中・高校生	400円	350円	20人以上の場合	350円
			50人以上の場合	300円
			100人以上の場合	200円
小学生	300円	250円	20人以上の場合	250円
			50人以上の場合	200円
			100人以上の場合	150円

前売券はたばこ店で

開場時間は午前9時～午後6時で会場は見取図のとおりです。

バス利用の場合は福井駅東口から30分おきに直行バスが出ています。

また、マイカーの場合は羽水高校前に専用駐車場（会場まで専用バス運行）があります。

入場料金は左表のとおりですが、前売券は市内の各たばこ店・商工会議所で発売しています。

きびしくなる転作割り当て

農地の適正利用がねらい

水田預託・互助制度をスタート

ことしから市と市内の2農業協同組合は、厳しくなる転作割り当て面積が不作地や荒し作りにならないように、農用地の適正な利用管理を推進するため「水田預託制度」と「互助制度」をスタートさせ、転作の有効な推進を図ることになりました。

最近の転作割り当てを見ますと、53年393.9㌦、54年310.9㌦、そして今年は462.8㌦と年ごとに増えてきており、これから先もさらに厳しくなる見込みです。

割り当て面積が多くなりますと①稲作よりも時間がかかり手間がない②道路条件・排水等が悪く畑作に適さない③現在の稲作用の農業機械が間に合わない——などのため、消化

出来ずやむを得ず休耕する農家が出てくるのが考えられます。

休耕すると水田が活かされないばかりか、何の補償も受けられず農業経営に相当な影響を来します。

そこで割り当て面積を消化出来ない農家に代わって転作をする農家があっせんしたり、湿田のように転作が困難な場合なども補償し、少しでも有利な転作を推進して農家の手助けをしようとするのが「水田預託制度」と「互助制度」です。

水田預託は農協へ

水田預託制度は、市内の農協と転作が出来ない農家が預託契約を結び



水田の保全管理をしようとするもので、契約期間は1年で5㌦以上が対象になります。

契約を結んだ農協は管理転作をするか、転作出来ない水田の場合は保全管理（耕起・除草等）をします。

預託した農家は転作奨励金から管理費を差し引いた、補償金を受けることになります。

市は農協に対し管理費1万1,800円（10㌦当たり）の3分の1を補助します。

契約の申し込みは5月上旬までに農協へして下さい。

互助制度は集落単位

一方、互助制度は各集落内で転作が出来ない農家の水田を団地化し、集落単位で「互助制度委員会」を設けて、再利用を図るものです。

この場合、集落の割り当て面積の50%以上を団地化することが必要で農家は奨励金と委員会からの年貢を受けることになります。

転作を引き受けた委員会が奨励金計画加算金の少ない作物（特定作物以外）を生産した場合には奨励金・加算金の多い作物との差の3分の1を市が委員会に補助します。

今のところ互助制度を利用する集落は十五、六ですが、これから採り入れようとする集落は市役所農務課（6-1111内線333）へ申し込んで下さい。



②6 不動堂



阪谷橋を渡って松丸に入る手前で左へ折れ、しばらく行くと不動堂があります。この地名は、集落の上手にある春日神社境内に祀られ、額として掲げられてある不動明王から来たものと思われま

す。文字は正三位治郎卿藤原貞宣の書かれたものです。神社には天然記念物の大銀杏の木や、市指定文化財になっている不動堂境界文書という古文書もあります。

昔は80戸あった集落も、今は50戸ほどになりましたが、集落の奥まったところに先請寺（ぜんじょうじ）があります。

文化14年（1817）集落出身の長洞が開基ですが、入りもや造りの屋根はカヤぶきで、正面は集落の人たちの手で新しくふきかえられ

たばかりです。集落にも3軒ばかりカヤぶきの家がありますが、とても素朴で温かみのある感じがします。庫裡の離れ座敷は、親戚にあたる明治35年衆議院議員に選ばれた伊藤淳氏（御領）のものを譲り受けたそうで、部屋に西園寺公望、山県有朋の書や伊藤博文の書簡のあるのもうなずけます。先請とは経文の最初に出てくる文句で仏を自分のところに招くという意味があるそうですが、山の境界線のことです。争った昔のことなど忘れたかのように、田畑で働くのどかな田園風景が見られました。（T生）

市民課窓口からお願い

届け出には
必要書類を

春は転出・入や保険の加入・離脱などの異動が多い季節です。せっかく市民課窓口へ手続きに来られても必要な書類がそろっておらずご迷惑をかけることがあります。特にこの時期には次の点に気をつけて下さい。

転出・入等の異動

転出・入、出生、転居など家族に異動があるときは、区長さんの「世帯異動連絡票」をお忘れなく。

遠隔地用の保険証

国民健康保険加入者で、大学等へ入学のため遠隔地用の保険証が必要な場合は、在学証明書か学生証の写しと国民健康保険証を持参下さい。



国勢調査あれこれ ②

国勢調査の「国勢」を「国の勢い」あるいは「国の勢力」というふうに解釈している人が、意外に多いといわれます。しかし、それは誤りです。

国勢調査の名称が初めて公式に使用されたのは明治29年3月18日で、江原素六外3名の衆議院議員が提出した「国勢調査執行建議案」においてです。その冒頭に「国勢調査は全国人民の現状即ち、男女

子供芸術劇場
福井劇の会創作

ふたつの心は雪の日に

感動を呼ぶ美しい童話の世界

日時 5月25日(日)午後2時～3時30分
場所 市民会館大ホール
対象 小学生と親(幼児はご遠慮下さい)
料金 無料(整理券は5月12日(月)から各公民館・市民会館にありますので観賞希望の方は必ずご持参下さい。)
主催 市教育委員会

保険の加入・離脱

就職等で国民健康保険加入者が社会保険に加入したときは、両方の保険証(国民年金加入者の場合は年金手帳も)を。反対に会社を辞めて、社会保険から国民健康保険に変わる場合は、会社の離職証明書と国民健康保険証・年金手帳を持参下さい。



印鑑登録証明書

印鑑登録証明書が必要なときは、「印鑑登録手帳」が無いとお渡し出来ません。また、代理の方が来られるときは委任状(様式は手帳に記載してある)が必要です。

昨年の交通災害共済

3万人が加入 160件に見舞金

昨年1年間の交通災害共済事業の結果がこの程まとまりました。

年間1人450円の掛け金のこの共済には3万1,515人が加入し、加入率は74.92%で前年より4.08%高くなっています。

事故による見舞金は総額1,182万5,000円が支払われ、死亡の1等級災害3件300万円が、金額では一番大きくなっています。

全体としては軽度の事故が多く、年間件数は160件で前年に比べ3件多くなっています。

より多くの方に加入していただくため、現在も市生活環境課では加入申し込みを受け付けていますので、未加入の方は1日も早く加入して下さい。

お知らせ

◆市民ハイキング

新緑の中で体力づくりをと、市教育委員会と大野親岳会は市民ハイキングを次のとおり行います。

- 〈日時〉5月11日(日)雨天中止
- 〈目的地〉桃木峠
- 〈集合〉午前6時30分までに国鉄越前大野駅前へ
- 〈コース〉国鉄駅前＝(バス)＝嵐口－嵐－桃木峠－金山－伏石＝(バス)＝大野
- 〈会費〉大人1,000円、小学生以下500円(主にバス代)
- 〈持ち物〉昼食・水筒・し好品・雨具・軍手など
- 〈申し込み〉5月8日(木)までに市教委体育課(6-1111内線409)か親岳会事務局(6-2263松田宅)へ

◆オリエンテーリング

生活の中にスポーツを取り入れようと、恒例のオリエンテーリングが次のとおり開かれます。

- 〈日時〉5月18日(日)午前9時(雨天中止)
- 〈集合場所〉阪谷小学校グラウンド
- 〈対象〉団体(小学生・中学生・家族・一般)と一般個人(小・中学生の参加は親の同意書が必要)
- 〈携行品〉赤ボールペン・昼食・雨具(地図・コンパスは主催者側で用意)
- 〈申し込み〉5月14日(水)までに市教委体育課(6-1111内線409)へ

◆市民サイクリング

春の市民サイクリング会が次のとおり実施されます。

- 〈日時〉5月25日(日)午前8時30分(雨天中止)市役所前集合
- 〈コース〉市役所前→上舌→榎→木本→宝慶寺(林業センター)
- 〈対象〉小学4年生以上の市民(小

中学生の参加は親の同意書が必要)
 〈携行品〉昼食・雨具・ごみ袋
 〈申し込み〉5月22日(木)までに市教委体育課(6-1111内線409)へ

◆3郵便局で切手の消印

ことしの「こどもの日」は、昭和55年5月5日と全部「5」の数字が並ぶ珍しい日になります。これを記念して大野・上庄・阪谷の各郵便局では、55円と5円切手を用意して消印をします。いろいろとアイデアを生かして消印の楽しさを味わってみましょう。

なお、当日(5日)は休日になりますが、上記の3郵便局では午前中に限って取り扱います。



◆目の更生相談

目の更生相談が次のとおり開かれます。県立病院の医師が診断・相談に当たり、専門的な助言や指導もありますのでご利用下さい。

- 〈日時〉5月14日(火)午後1時～3時
- 〈場所〉有終会館

◆家庭児童相談にどうぞ

子供の性格やしつけ・知能・言動などに悩みや疑問をお持ちの方のご相談に応じるため、市では毎日「家庭児童相談室」を設けています。

特に、毎月第1・第3火曜日の午前9時～12時は、県の児童相談員が相談に当たりますのでご利用下さい。

相談場所は市役所(消防署二階)です。電話(6-1111内線223)や手紙による相談にも応じますので、お気軽にどうぞ。相談は無料で、秘密は固く守られます。

◆高齢者の人材を募集

お年寄りの優れた知識や特技を社会教育活動に役立てていただくため高齢者人材活用派遣事業の参加者を

募集しています。

参加資格は市内に住むおおむね60歳以上の方で、指導していただく分野は一般教養・芸能・手作り工芸・郷土史・郷土料理・園芸・書画・生け花・軽スポーツ・健康管理などです。申し込みは5月20日(火)までに市教委社会教育課(6-1111内線405)へ。

◆三種危険物取扱者試験

昭和55年度の三種危険物取扱者試験は、6月15日(日)福井工業大学で行われます。なお、予備講習会が6月4日(水)福井市民福祉会館で実施されます。受講料等は2,700円です。

受験ご希望の方は5月24日(土)までに大野地区消防署予防課(6-1111内線413)へ申し込んで下さい。

◆母子保健推進委員決まる

昭和55年度の母子保健推進委員に次の方々が決まりました。母子の健康と福祉の増進に活躍していただきます。敬称略()は住所
 安間照子(元町) 権守民子(有明町) 中川文子(月美町) 宮沢はるえ(月美町) 海野あ江子(吉野町) 森田菊枝(篠座町) 山崎範子(高砂町) 池端政子(篠座) 尾崎美子(水落町) 鳥山としを(春日二丁目) 瀬吉きよ子(新町) 面屋令子(友江) 野尻あき子(横枕) 斉藤志づ子(中挾町) 田中キヨ子(中荒井二丁目) 神谷逸子(菖蒲池) 塚田澄子(庄林) 松田信子(矢) 明石あつ子(中津川) 野郎ふみ子(木本) 源内律子(森山) 加藤あや子(稲郷) 田口おりを(友兼) 久保田きぬ子(中据) 堂本清子(五条方) 婦山よしの(蔵生) 松原明美(土打) 松田典子(森目) 土田丸美(下麻生嶋) 岩田美子(不動堂) 後川ちづ子(大月) 竹林慶子(花房) 山川邦子(柿ヶ嶋) 岩本すえの(南六呂師) 福田よしえ(牛ヶ原) 中村啓子(牛ヶ原) 田中美和子(牛ヶ原) 富田道子(下丁) 江波洋子(上荒井) 高津澄子(上舌) 篠原まり子(阿難祖地頭方)

市民カレンダー

5月10日～5月24日

10(土) 愛鳥週間

11(日) 母の日	市民ハイキング	6.30～16.00	桃木峠	休日当番医	内科 鳥山医院 外科 西川外科医院
-----------	---------	------------	-----	-------	----------------------

12(月)	成人病検診	9.30～15.00	大野保健所	法律相談	13.00～16.00 商工会議所
-------	-------	------------	-------	------	-------------------

13(火)	交通事故相談	10.00～16.00	市役所	少年相談	9.00～12.00 市役所
	成人病検診	9.30～11.00	大野保健所	金融相談	13.00～16.00 商工会議所
	三種混合2期	13.30～14.30	市民会館		

14(水)	少年相談	9.00～12.00	市役所	結婚相談	10.00～15.00 有終会館
	三種混合2期	13.30～14.30	有終会館	目の更生相談	13.00～15.00 有終会館

15(木) 沖縄本土 復帰記念日	少年相談	9.00～12.00	市役所	心配ごと相談	9.00～12.00 市役所
	三種混合2期	13.30～14.00	下庄公民館	交通事故相談	10.00～16.00 市役所

16(金)	三種混合2期	13.30～14.30	大野公民館		
-------	--------	-------------	-------	--	--

17(土)	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館		
-------	--------	-------------	------	--	--

18(日) 家庭の日 国際善意デー	オリエンテーリング	9.00～15.00	阪谷小学校	休日当番医	内科 板橋医院 外科 弘川医院
----------------------	-----------	------------	-------	-------	--------------------

19(月)	社会保険年金相談	10.00～15.00	大野織物工業組合	人権相談	13.00～16.00 大野公民館
	レントゲン・成人病	9.30～15.00	大野保健所	経営相談	13.00～16.00 商工会議所

20(火)	少年相談	9.00～12.00	市役所	生ワクチン	13.30～14.30 有終会館
	成人病検診	9.30～11.00	春日児童館	労務相談	13.00～16.00 商工会議所


21(水) 小満	少年相談	9.00～12.00	市役所	生ワクチン	13.30～14.00 下庄公民館
	結婚相談	10.00～15.00	有終会館	麻しん	13.30～14.30 医師会館

22(木)	少年相談	9.00～12.00	市役所	心配ごと相談	9.00～12.00 市役所
	生ワクチン	13.30～14.00	上庄・乾側公民館		

23(金)	生ワクチン	13.30～14.30	市民会館	生ワクチン	13.30～14.00 小山公民館
-------	-------	-------------	------	-------	-------------------

24(土)					
-------	--	--	--	--	--

歌の文句そのままの五月の大野はすばらしい。かつて連休の旅先で都会のこいのぼりをあわれんだ思い出、ビルの谷間にほこりっぽい空気にあえぎながら、低くうなだれている。泳ぐのではなく、身をよじっているかのよう。こいのぼりにはいらかであり、若葉であり、大野には日本人の心の古里がある▼こいのぼりには子供がたくましく育って欲しいと祈る親心が込められているが、最近の子供はどうだろう。体格は立派でも体力が劣る、なぜだろう。無気力・無責任といわれる、なぜだろう。無関心・無感動・無作法ともいわれる、なぜだろう。たくましく大らかに、そして優美に泳ぐこいのぼりをながめながら、この「なぜだろう」をじっくりと考えてみたい▼「開けよ広きその口に、舟をも呑まん様見えてゆたかに振う尾びれには、物に動ぜぬ姿あり」 唱歌「こいのぼり」の二番の歌詞である。(D生)



もうしばらく咲かせておいて欲しかった桜が散る。気まぐれな雨風を恨めしくも思ったが、この雨と風がもたらす暖かさが古里の盆地を包むと、待ちかねたかのように若芽が一斉にもえ出す。田んぼも畑もにわかには活気づく▼いよいよ五月、若葉の香りが漂い、黄金週間の空にマゴイ・ヒゴイが泳ぐ、薫風を一ぱいはらませて。陽光に矢車はきらめき、リズムカルに回る▼「いらかの波と雲の波、重なる波の中空を、…高く泳ぐやこいのぼり」